Ⅲ　普及業務実績

1　農作物生育調査

対象地域	対　象　作　物	調査地点数	備　　考
苫 前 町	水　稲 秋まき小麦 春まき小麦 大　豆 小　豆 牧　草 飼料用とうもろこし	2　か所 2 1 1 2 3 2	公表　1　参考　1 参考　2 参考　1 公表　1 公表　2 参考　3 参考　2
羽 幌 町	水　稲 秋まき小麦 大　豆	2 1 1	公表　2 公表　1 公表　1
初山別村	水　稲（もち） 秋まき小麦 春まき小麦 大　豆	1 1 1 1	参考　1 公表　1 参考　1 公表　1
遠 別 町	水　稲（もち） 秋まき小麦 春まき小麦 牧　草 飼料用とうもろこし	1 1 1 2 1	参考　1 公表　1 参考　1 参考　2 参考　1
天 塩 町	牧　草 飼料用とうもろこし	3 2	公表　3 参考　2
増 毛 町	水　稲 りんご	3 2	公表　1　参考　2 公表　2
小 平 町	水　稲 秋まき小麦 大豆	2 1 1	公表　1　参考　1 公表　1 参考　1
合計調査地点数		４１か所	

2　病害虫発生予察

対象地域	対象作物	調査地点数	備　　考
苫 前 町	水　稲 秋小麦 大　豆 小　豆	1　か所 1　か所 1　か所 1　か所	巡回調査、現況調査実施 巡回調査、現況調査実施 巡回調査、現況調査実施 巡回調査、現況調査実施
羽 幌 町	水　稲 秋小麦 大　豆	1　か所 1　か所 1　か所	巡回調査、現況調査実施 巡回調査、現況調査実施 巡回調査
初山別村	水　稲 秋小麦 大　豆	1　か所 1　か所 1　か所	巡回調査、現況調査実施 巡回調査　現況調査実施 巡回調査
遠 別 町	水　稲 秋小麦	1　か所 1　か所	巡回調査、現況調査実施 巡回調査、現況調査実施
留 萌 市	水　稲	－	現況調査実施
増 毛 町	水　稲 りんご	1　か所 2　か所	巡回調査、現況調査実施 巡回調査、現況調査実施
小 平 町	水　稲	1　か所	巡回調査、現況調査実施
合計調査地点数		１６か所	

３　試験展示ほ･実証ほ

対象地域	対象作物	設置主体	備　　考
苫 前 町	小　豆 サイレージ用 とうもろこし	上川農試、普及センター ＪＡるもい苫前支所 BASFジャパン、普及センター	優良品種決定現地調査 除草剤（全面土壌散布）の違いによる雑草抑制効果確認
羽 幌 町	水　稲 水　稲 水　稲 水　稲 水　稲 秋まき小麦 大　豆 春まき小麦 大　豆 秋まき小麦 秋まき小麦	普及センター、開発肥料株式会社 ＪＡるもい、ホクレン留萌支所、普及センター ＪＡるもい、ホクレン留萌支所、普及センター 普及センター ＪＡるもい、ホクレン留萌支所、普及センター 上川農試、普及センター 上川農試、普及センター 上川農試、ＪＡるもい、ホクレン留萌支所、普及センター ＪＡるもい、㈱正喜商会 普及センター ホクレン留萌支所、普及センター ホクレン留萌支所、普及センター	ケイ酸質資材施用による収量・品質調査(2戸) 水稲湛水直播栽培におけるDd708の効果確認試験 水稲湛水直播栽培における側条施肥の効果確認試験 密苗栽培における栽植密度の検討 水稲湛水直播栽培種子のカルパー粉衣量検討試験 優良品種決定現地調査 優良品種決定現地調査 カットドレーンによる透排水性改善効果調査 穿孔暗渠機・広幅型心土破砕機による透排水性改善効果調査 小麦赤さび病に対する効果確認 小麦赤かび病に対する効果確認
初山別村	水　稲 水　稲	ＪＡるもい、ホクレン留萌支所、普及センター 普及センター	糯米高密度は種現地適応性調査 糯米湛水直播栽培の現地適応性調査
遠 別 町	水　稲 春まき小麦	上川農試、普及センター 上川農試、ＪＡるもい、㈱正喜商会、普及センター	水稲優良品種決定現地調査 穿孔暗渠機・全層心土破砕機による透排水性改善効果調査
留 萌 市	水　稲	上川農試、ＪＡるもい幌糠事業所、普及センター	水稲優良品種決定現地調査
増 毛 町	水　稲 水　稲 水　稲 果　樹 果　樹	ＪＡるもい増毛支所、ホクレン留萌支所、普及センター ＪＡるもい増毛支所、ホクレン留萌支所、普及センター ＪＡるもい増毛支所、ホクレン留萌支所、普及センター 増毛町果樹協会、増毛町、ＪＡるもい増毛支所留萌振興局農務課、普及センター 増毛町果樹協会、ＪＡるもい増毛支所、普及センター、増毛町、病害虫防除所、中央農試、上川農試	定点調査（重点調査） 定点調査（増毛町特別栽培米研究会） 定点調査（留萌地区酒米生産協議会） 果樹生育状況調査 果樹害虫発生状況調査
小 平 町	水　稲 水　稲 秋まき小麦 秋まき小麦	ＪＡるもい小平支所、ホクレン留萌支所、普及センター 、南るもい輪作研究会、ＪＡるもい小平支所、普及センター ＪＡるもい小平支所、普及センター ＪＡるもい小平支所、普及センター	定点調査（小平町特別栽培米研究会） 乾田・湛水直播栽培の実態調査 カットドレーン施工効果の実証 田畑輪換に関する管理作業の実態調査
合計設置件数		２８ 件	

４　その他（土壌診断等）

対象地域	対象作物	簡易分析（pH、ＥＣ）	備考
苫前町 羽幌町 初山別村 遠別町	水稲床土 畑作物 野菜	４　点 ５４　点 ２０　点 ０　点	
天塩町	牧草・飼料作物・畑作物	３　点	
増毛町 留萌市 小平町	水稲・畑作物・野菜・果樹 水稲・畑作物・野菜・花き	１　点 ２０　点 １１　点	
合　計		１１３　点	

対象地域	対象作物	分析機関による土壌診断	備考
苫前町	水稲・畑作物・野菜	ホクレン分析センター	処方箋作成 ３　点
羽幌町	水稲・畑作物・野菜・牧草	ホクレン分析センター	１０　点
初山別村			０　点
遠別町			０　点
天塩町	牧草・飼料作物	ホクレン分析センター	０　点
増毛町	水稲・畑作物・野菜・果樹	ホクレン分析センター	２０　点
留萌市	水稲・畑作物・野菜		１　点
小平町	水稲・畑作物・野菜		４　点
	合　計		３８　点

Ⅳ　普及活動成果のＰＲ実績

１　ＰＲ実績一覧

番号	年月日	成果のＰＲ内容	ＰＲ媒体
1	令和３年 ５月21日	「農業への思い堂々と」 遠別農業高校意見発表大会　地域資源の活用主張 　遠別農業高校（織井恒校長、生徒52人）の令和３年度校内意見発表大会が、19日午前11時５分から同校体育館で開かれ、代表生徒15人が農業に対する思いやなどを堂々と主張した。留萌農業改良普及センターの林弘幸次長と同校の藤井勝巳教頭、片山幹洋教諭が審査員を務めた。	日刊留萌新聞
2	５月27日	「はだしで田植え　秋の実り楽しみ」 　苫前小の学校水田で25日、稲作の体験授業が行われ、５年生11人が実りの秋に期待を込めて田植えを行った。授業は地域と学校が協同する活動の一環で水田は校庭内にあり約10平方メートル。農協青年部がおよそ１ヶ月間かけて育苗した「ななつぼし」の苗を提供した。	北海道新聞
3	６月11日	「色素抽出用サツマイモ栽培安定生産に向けて本格始動」 　町内では、１日から「色素抽出用サツマイモ」の栽培が始まった。留萌農業改良普及センターをはじめ、赤シソなどから植物性色素の製造を行う鹿遠産業株式会社（本社・遠別町、吉田真人代表取締役）、農業生産法人有限会社緑進（同・同、小森嘉孝代表）などで構成する連携団体が研究を推進、令和元年度から試験栽培に取り組んでいるもの。今年はこれまでと異なり、40～50ｔの収穫を目標に、安定生産に向けて取り組みが本格始動した。	日刊留萌新聞
4	６月28日	「色素取りサツマイモ火ばさみを使い定植」 　遠別農業高校（織井恒校長）の色素取りサツマイモ定植作業が、22日午前11時10分から同校富士見農場で行われ、２年生14人が火ばさみを使ってサツマイモの苗を丁寧に植えた。定植作業は、令和２年度から留萌農業改良普及センターや植物色素の製造などを行う鹿遠産業株式会社（本社・遠別町、吉田真人代表取締役）など協力を得て行っている「色素抽出用サツマイモ」の安定生産に向けた取り組みの一環。	日刊留萌新聞

番号	年月日	成果のＰＲ内容	ＰＲ媒体
5	７月８日	「普及活動の成果など説明」 令和３年度留萌振興局地域農業づくり懇談会が、５日午前10時半から留萌合同庁舎２階講堂で開かれた。農業生産者や消費者団体、小売業者など約30人が参加し、留萌農業改良普及センターの職員が取り組みの成果などを説明したほか、スマート農業の実現に向けて意見交換も行った。意見交換では、スマート農業で得たデータを活かすためには農家としての経験値も必要であり、農業研修でもその点の気配りは重要になるなどの意見が寄せられた。	日刊留萌新聞
6	10月14日	「遠別産色素取りサツマイモ本格栽培好スタート」 町内では、８日から「色素抽出用サツマイモ」の収穫が始まった。留萌農業改良普及センターや、赤シソなどから植物性色素を製造する鹿遠産業株式会社（本社・遠別町、吉田真人代表取締役）、農業生産法人有限会社緑進（同・同、小森嘉孝代表）などで構成する連携団体が研究を進め、今年度から本格栽培を始めているもの。今年は約50ｔの収穫が目標だが、初日ですでに約４ｔが採れ、好スタートに沸いている。	日刊留萌新聞
7	10月22日	「スマート農業を体験」 留萌管内羽幌町で北海道農政部は10月中旬、農業女性グループスマート農業技術研修会を開いた。指導者も含めて全て女性が参加した。同町内の「みなくるファーム」で管内の農業に従事する女性10人の他、振興局から３人、普及センターから４人が参加した。参加者は、「講師も女性で話が聞きやすかった」「ロボットトラクターがすごい。もっと乗りたい」「年に一度は研修したい」などと話した。	日本農業新聞
8	11月28日	「手打ちそばに笑顔広げる」 町手打ち蕎麦を楽しむ会（守谷栄司会長ら会員３人が25日、特別養老老人ホーム友愛苑（緒方施設長）を訪れ、地元で育てたそば品種「キタミツキ」を使ったそば打ちを実演。打ちたての新そばを入居者に振る舞った。「キタミツキ」は留萌農業改良普及センターや町内の農業生産法人有限会社緑進（小森嘉孝代表）と鹿遠産業株式会社（吉田真人代表取締役）が昨年から町内のほ場で栽培を開始。入居者に振る舞われるのは初めて。	日刊留萌新聞

番号	年月日	成果のＰＲ内容	ＰＲ媒体
9	11月27日	「遠別でファーマーズトーク」 留萌管内４Ｈクラブ連絡協議会（秋山直人会長）、留萌振興局共催の令和３年度留萌管内青年農業者会議「ファーマーズトークinRumoi」が24日、町生涯学習センターマナピィ・21で開かれた。参加者が取り組み発表を通じて情報を交換し、管内農業の可能性を探った。	日刊留萌新聞
１０	12月14日	「酪農学園大学生と農業者が担い手確保と活性化策探る」 留萌振興局主催のるもいファーミングプロジェクト（大学との連携事業）が８日午後１時からるもい農業協同組合本所で開かれた。留萌振興局、留萌農業改良普及センター、遠別町４Ｈクラブ、農業協同組合青年部、るもい指導農業士・農業士会、酪農学園大学などから約40人が参加した。	日刊留萌新聞
１１	１月14日	「管内産米の違いを理解」 留萌振興局、留萌調理師会（大懸信司会長）共催の「美味しい『るもいのお米』を知って！料理して！写して！食べよう！冬休み企画・親子で学ぶ料理教室」が、12日午前11時から道の駅「るもい」があるるしんふれ愛パーク（船場公園）管理棟１階体験学習室で開かれ、参加した親子が料理を通じて留萌管内で生産されているうるち米、もち米、酒造好適米（酒米）について理解を深めた。	日刊留萌新聞

２　農業雑誌等へ執筆・寄稿した内容

番号	年月日	農業雑誌名（農業技術書、新聞）	執筆、寄稿内容（題名）
1	令和３年 １～９月	「ニューカントリー」 ３～11月号	「今月の農作業」 留萌農業改良普及センター水稲部会が執筆。
2	５月	「農家の友」　　７月号	「先輩農業者に学ぼう！～留萌管内４Ｈクラブ連絡協議会の加工研修会への取り組み～」 平成30年から３年間開催されている管内４Ｈクラブ連協の加工研修会の活動について紹介した。 本所　髙木主査が執筆
3	８月	「農家の友」　　10月号	「ゼミナールを通じた若手農業者の育成」 南留萌支所で開催されている若手青年農業者への支援について紹介した。 南留萌支所　藤塚専普が執筆
4	12月	「農家の友」　　２月号	「新型コロナ禍こそ「花のある生活」を！」 「るもいの花」応援の取り組み」 留萌振興局では「るもいの花」を知ってもらう取り組みを行っているコロナ禍の中で、花のサブスクリプション販売や「フラワーウィーク」の取り組みについて紹介した。 農務課　岡本係長が執筆
5	令和４年 １月	「農家の友」　　３月号	「農業女子のための機械研修会を開催～スマート農業技術の体験～」 ヤンマーガールズを講師に、管内農業女子を対象に機会研修の開催状況を紹介した。 本所　丸山専普が執筆

３　地域農業技術支援会議の開催実績

開催日時	令和３年５月26日 令和４年２月１日	会　　場	書面開催 Ｗｅｂによるリモート開催
会議の名称	地域農業技術支援会議（事務局会議）		
参集範囲	留萌振興局産業振興部農務課、上川農業試験場研究部生産技術Ｇ 上川農業試験場技術普及室、留萌農業改良普及センター		
概　　要	(1)年間スケジュールについて (2)令和４年度課題選定に向けた活動について (3)令和３年度要望課題の対応について		

開催日時	令和４年２月15日	会　　場	Ｗｅｂによるリモート開催
会議の名称	地域農業技術支援会議（４者会議）		
参集範囲	留萌振興局産業振興部長、上川農業試験場場長、上川農業試験場研究部長 上川農業試験場技術普及室上席普及指導員、留萌農業改良普及センター所長		
概　　要	(1)令和４年度地域要望課題の対応について (2)令和３年度留萌地域農業技術支援会議地域関係者会議の開催について		

開催日時	令和４年２～３予定	会　　場	
会議の名称	地域農業技術支援会議地域関係者会議		
参集範囲	留萌市、増毛町、初山別村、ＪＡるもい、ホクレン留萌支所、管内指導農業士、管内農業士 留萌振興局産業振興部長、上川農業試験場場長、上川農業試験場研究部長 上川農業試験場技術普及室上席普及指導員、留萌農業改良普及センター所長 留萌振興局産業振興部農務課、上川農業試験場場生産技術Ｇ、上川農業試験場技術普及室、上川農業試験場天北支場技術普及室 留萌農業改良普及センター		
概　　要	新型コロナウィルス感染拡大の状況を鑑み中止		

４　農業改良普及推進協議会等の開催実績

開催日時	令和３年12月８日	会　　場	普及センター本所
会議の名称	るもいファーミングプロジェクト		
参集範囲	遠別町４Ｈクラブ、ＪＡるもい青年部羽幌ブロック、同初山別ブロック、同遠別ブラック、るもい農業協同組合本所、同初山別支所、同遠別支所、るもい指導農業士・農業士会、留萌振興局農務課、留萌農業改良普及センター 合計３２名		
概　　要	１　講演「担い手の育成・確保の一般的な状況」 ２　情報提供「オロロン地区の概要紹介」 ３　グループワーク「オロロン地域・農業の魅力と課題とは」		

開催日時	令和４年３月16日	会　　場	羽幌町中央公民館
会議の名称	るもい担い手対策推進会議		
参集範囲	留萌市、増毛町、小平町、苫前町、羽幌町、初山別村、遠別町、天塩町、るもい農業協同組合本所、るもい農業協同組合留萌支所、同小平支所、同遠別支所、るもい指導農業士・農業士会、留萌振興局農務課、留萌農業改良普及センター 合計３０名		
概　　要	１　取組報告 (1)講演：それぞれの地域にあった担い手の対策を考える (2)道内市町村の取組事例紹介 (3)管内の取組発表 ２　意見交換		

５　地域農業づくり懇談会の開催実績

<table>
<tr><td>開催日時</td><td>令和３年７月５日</td><td>会　　場</td><td>留萌合同庁舎２階講堂</td></tr>
<tr><td>会議の名称</td><td colspan="3">令和３年度留萌振興局地域農業づくり懇談会</td></tr>
<tr><td>参集範囲</td><td colspan="3">るもい指導農業士・農業士会、留萌消費者協会、道立遠別農業高校、(株)中央スーパー、ホクレン農業協同組合連合会留萌支所、上川農業試験場技術普及室、留萌振興局農務課、留萌農業改良普及センター
合計３２名</td></tr>
<tr><td>概　　要</td><td colspan="3">１　農業改良普及センターの取り組み紹介
２　令和３年度普及活動報告
(1)地域活性化のための組織育成による地域営農の確立
(2)広域３部門連携による遠別農高へのアプローチ
(3)留萌管内のＩＣＴの実態について
３　意見交換
(1)食生活においては安心、安全な農産物が求められている
(2)管内には良い物があるが、知名度が低いので売り方の工夫が必要
(3)学校で始めからスマート農業から入ると基本的技術が欠けるので注意</td></tr>
</table>

令和３年度　普及活動実績

令和４年３月

留萌振興局
留萌農業改良普及センター
（郵便番号）０７８－４１０６
（住　　所）苫前郡羽幌町南６条２丁目１６番地４
（電話番号）0164-62-1779
（ﾌｧｸｼﾐﾘ番号）0164-62-2474